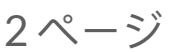


Techivation M-EQ

ユーザーマニュアル



Techivation M-EQ

概要

M-EQは、より少ないバンド数でより高い効果を実現する適応型リニアフェイズ・イコライザープラグインです。3つのスマートカーブバンドは、従来の静的または動的バンドを複数組み合わせたものよりも強力な性能を発揮します。

M-EQのスマートカーブは入力信号に応じて形状を継続的に適応させるため、ブーストは不足している部分のみを強調し、カットは過剰な部分のみを低減します。

つまり、より大まかな視点で作業できます：エネルギーを増減させるべき周波数帯域を大まかに選択し、希望するゲイン量を設定するだけで、M-EQが比類のない精度で精密な調整を自動で行います。

インテリジェントなMix Assistantはトラックを分析し、全体の音のバランスを向上させるEQ設定を提案することで、ワークフローを劇的に効率化します。

バンドごとのサチュレーションにより、M-EQは透明感あふれるサウンドから個性的なサウンドまで、お好みに応じて調整可能です。自動ゲイン補正、ミッドサイド処理、個々のバンドの簡単なステレオバランス調整、可変スロープのローカットおよびハイカットフィルターがパッケージを完成させます。

Techivation M-EQ

特徴

- Band On/Off
- Band Range
- Band Gain
- Band Smart Curve
- Band Saturation
- Band Stereo Balance
- Band Solo
- Filter On/Off
- Filter Cutoff
- Filter Slope
- Mix Assist
- Gain Compensation
- Saturation Character
- Saturation Quality
- Smart Curve Smoothing
- EQ Curve Display
- LR/MS
- Mix
- Output
- Level meters
- Internal On-Off Switch
- Internal Menu
- Presets
- Scaleable GUI
- Guided Tour
- A/B Switch
- Undo-Redo Options
- Show/Hide Tooltips

Techivation M-EQ

特徴

Band 制御

M-EQの中核をなすのは、ロー、ミッド、ハイの3つのスマートカーブバンドです。各バンドは高度に適応性があり、その操作方法は従来の方法とは異なります。

問題のある周波数を正確に特定するのではなく、調整が必要な広い領域を定義します。エネルギーが過剰または不足していると感じる範囲を設定し、追加または除去したい量を調整します。M-EQは周波数範囲の関連部分をターゲットに、カーブを継続的に適応させ、必要に応じて不足を補ったり過剰を減らしたりします。この精密な調整は自動的に行われ、オーディオの変化するスペクトルに動的に応答します。

Band On/Off

「Band On/Off」はバンドを有効または無効にします。



Techivation M-EQ

特徴

Band Range

「Band Range」は、バンドが影響を与える周波数範囲を設定します。

範囲コントロールは、バンドのカーブのベース形状も定義します。M-EQのスマートカーブによるインテリジェントな調整は、バンドのベース形状によって制限され、それを超えることはありません。したがって、バンドのベース形状は、そのバンドが実行できる最も強力な調整となります。

- **Mid Band** はベルベース形状に固定され、ベルの幅は選択した音域によって決定される。
- **Low Band** は可変ベース形状を持つ：範囲の下限が最小値に近づくにつれ、ベース形状はベル型から低棚型へ変化する。棚の傾斜は範囲の幅によって決定される。
- **High Band** は可変ベース形状を持つ：帯域の上限が最大値に近づくにつれ、ベース形状はベル型からハイシェルフ型へ変化する。シェルフの傾斜は帯域幅によって決定される。



Techivation M-EQ

特徴

Band Gain

「Band Gain」は、バンドの周波数帯域に追加または除去するエネルギー量を制御します。Smart Curvesは、バンドの周波数に適用されるブーストまたはカット量を動的に調整しますが、その量は設定されたGainを超えることはありません。

Band Smart Curve

「Band Smart Curve」は、バンドが入力信号に動的に適応する度合いを設定します。0%以上に設定すると、バンドはその周波数範囲内のエネルギーを継続的に測定し、最も必要とされる領域に向けてゲインを再配分します。ブーストは信号のエネルギーが低い部分を優先し、カットは最も大きなピークからエネルギーを除去することに焦点を当てます。

この適応動作により、問題のある周波数を正確に特定する必要はありません。代わりに広いターゲット範囲を設定し、オーディオの変化に応じてM-EQが調整が必要な周波数を継続的に見つけ出し処理させることができます。

Lower Smart Curve の値を下げる则この適応動作が減少し、バンドは従来の静的EQに近い動作になります。0%ではバンドカーブは基本形状に固定されます。



Techivation M-EQ

特徴

Band Solo

「**Band Solo**」は対象の周波数帯域のみを分離し、その影響を受ける周波数だけを明確に聴き取れるようにします。

Band Saturation

「**Band Saturation**」は、指定した周波数帯域に倍音サチュレーションを加えます。

全バンドのサチュレーション効果のスタイルと強度は、グローバルなSaturation Characterコントロールによって決定されます。

Band Stereo Balance

「**Band Stereo Balance**」は、バンド効果をステレオチャンネル間でパンさせる機能です。Balanceスライダーは、ゲイン調整とバンドのサチュレーションの両方に影響を与えます。

グローバルな「LR | MS」トグルの状態に応じて、効果はLeftとRight、またはMidとSideチャンネル間でバランス調整できます。



Techivation M-EQ

特徴

Filter Controls

M-EQは不要な周波数を除去するための2種類のフィルターを提供します。Low CutフィルターはCutoff以下の周波数を減衰させ、低域のうなりや濁りを簡単に除去します。High CutフィルターはCutoff以上の高周波エネルギーを除去し、明るすぎる音、ヒスノイズ、耳障りなエッジを抑制します。

Filter On/Off

「Filter On/Off」は、フィルターを有効または無効にします。

Filter Cutoff

「Filter Cutoff」は、フィルターが不要なスペクトル成分を減衰し始める周波数を設定します。

Filter Slope

「Filter Slope」は、Cutoff周波数を超える信号の減衰の急峻さを制御します。値を高くすると、より鋭いフィルタリングが得られます。



Techivation M-EQ

特徴

Mix Assist

「Mix Assist」ボタンを押すと、プラグインが入力信号をキャプチャして分析し、トラックの音のバランスを改善するEQ設定をインテリジェントに提案します。M-EQは分析のために3.5秒間のオーディオをキャプチャします。最適な結果を得るため、キャプチャ時にはトラックの中で最も音の多い部分を再生してください。

Gain Compensation

「Gain Compensation」は、入力信号との音量の一貫性を保つため、全体のEQカーブに基づいて固定レベルの調整を適用します。補正量はEQパラメータのみに基づいて推定され、入力信号に依存しません。これは、EQパラメータを調整しない限り、Gain Compensationの量が決して変化しないことを意味します。したがって、Gain Compensationは常に有効にしておいても問題ありません。オーディオに望ましくない動的なゲイン変化をもたらすことは決してないためです。



Techivation M-EQ

特徴

Mix Assist



Techivation M-EQ

特徴

Saturation Character

「Saturation Character」は、バンドSaturation効果のスタイルと強度を制御します。高い値では温かみのある、よりドライブ感のあるサチュレーションサウンドが得られ、低い設定では微妙な厚みを加えます。

Smart Curve Smoothing

「Smart Curve Smoothing」はSmart Curveの動的調整のスケールを制御します。低い値ほど精密で外科的なSmart Curve調整となり、高い値ほど柔らかく穏やかな効果をもたらします。



Techivation M-EQ

特徴

Saturation Quality

メインメニューの「Saturation Quality」オプションは、バンドSaturationエフェクトのオーバーサンプリング量を設定します。オーバーサンプリングは、ホストアプリケーションよりも高いサンプルレートでオーディオを内部処理することでエイリアシングを低減し、最大で元のサンプルレートの8倍に達する能力があります。パフォーマンスと音質のバランスに応じて、以下の4つの設定から選択できます：

「Standard (1X)」、「Good (2X)」、「Great (4X)」、「Ultra (8X)」。



Techivation M-EQ

特徴

EQ Curve Display

EQカーブ表示は、M-EQの動作を一目で確認できる視覚的な補助ツールです。

金色カーブはM-EQによる総合的なスペクトル調整を表し、動的なSmart Curve補正をリアルタイムで更新表示します。

バンド上にカーソルを合わせると、対応する基本形状のカーブが青色で表示され、バンドパラメータの設定を支援します。

デフォルトでは、EQカーブの後ろに入力スペクトルビジュアライザーが表示され、EQ調整の判断を補助します。メインメニューの「Analyser Mode」オプションを使用すると、入力スペクトルと出力スペクトルの表示を切り替えたり、スペクトルビジュアライザーを完全に無効化して聴覚のみに頼ることも可能です。



EQ Display Scale

メインメニューの「EQ Display Scale」オプションは、EQカーブグラフの垂直スケールをデシベル単位で設定します。

Techivation M-EQ

特徴

LR|MS

「LR|MS」（左右／ミッドサイド）トグルスイッチは、M-EQ処理をLR（左右）モードとMS（ミッドサイド）モード間で切り替えます。LRモードでは、プラグインが左右チャンネルを独立して処理します。トラックのステレオバランスを維持する必要がある場合は、処理をMSモードに切り替えてください。

Output

「Output」は、処理された信号に適用されるクリーンゲインの量を制御します。

Mix

「Mix」コントロールは、処理済み信号と元の信号をブレンドし、パラレル処理を素早く実現します。



Techivation M-EQ

特徴

A と B の比較

A/Bボタンは、異なるオプションを比較し、オーディオ処理のニーズに最適な設定を見つけるための便利な方法を提供します。クリックするだけで、同じ処理チェーンの2つの異なるバージョンを切り替えて結果を比較できます。さらに、「Copy A to B」と「Copy B to A」機能を使用すると、一方のバージョンからもう一方に設定をコピーし、その効果を比較することで、小さな調整や変更を迅速にテストできます。

A/Bボタンと「コピー」機能を組み合わせて使用することで、処理の微妙な違いを効率的に評価し、最適なアプローチを選択するための情報に基づいた判断が可能です。この効率的なワークフローは時間と労力を節約し、ミックスの創造的な側面への集中を可能にします。



Techivation M-EQ

特徴

内部メニュー

便利な機能のクイックメニュー：

- Undo
- Redo
- Saturation Quality
- Analyser Mode
- EQ Display Scale
- Presets
- Save Preset As...
- Load Preset...
- Open preset folder
- Default Preset
- GUI Scale
- Start Guided Tour
- Show/Hide Tooltips
- [Eメール]/Sign in
- About
- Support



Techivation M-EQ

特徴

Undo/Redo

M-EQプラグインには、便利な「Undo」と「Redo」機能が標準搭載されており、オーディオ処理作業中の安心感をさらに高めます。これらの機能により、以前の設定に戻すことや、誤って行った変更を元に戻すことが容易になり、時間節約と貴重な調整を失うストレスを軽減できます。

「Undo」と「Redo」オプションは、オーディオを永久に変更する心配なく、さまざまな設定や構成を試すことができます。さらに、この機能はワークフローを向上させ、効率的な方法で後戻りして代替の処理経路を探索する手段を提供し、オーディオ制作におけるより適切な判断を下すことを可能にします。



Techivation M-EQ

特徴

Tooltips

M-EQ には、プラグインのメニューから有効化または無効化できる便利な「ツールチップ」オプションが搭載されています。このオプションを有効にすると、マウスを特定のセクションの上にホバーさせるだけで、ユーザーインターフェースの各部分の簡単な説明が表示されます。ツールチップは、プラグインのさまざまなコントロールや設定について迅速に学ぶための優れた方法であり、インターフェースを効果的に操作しやすくします。

各パラメーターについて、その機能、範囲、およびオーディオ信号への影響に関する役立つ情報を提供します。ツールチップオプションを有効にすることは、ワークフローを高速化し、M-EQプラグインとの作業を容易にする素晴らしい方法です。特定のコントロールの役割が不明な場合は、マウスをその上にホバーさせるだけで、迅速で有益なツールチップが表示されます。

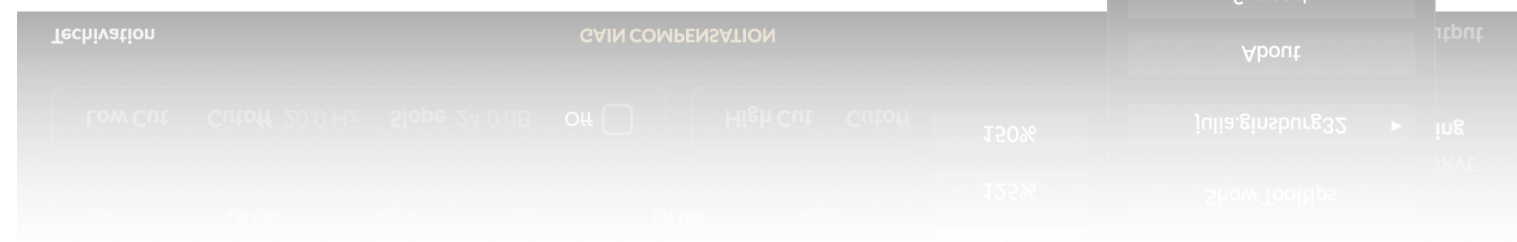


Techivation M-EQ

特徴

GUI Scale

M-EQのインターフェーススケーリング機能により、GUIのサイズを好みに合わせてカスタマイズし、ワークフローを最適化できます。50%から150%までのスケーリングオプションが用意されており、視覚的スタイルや作業スタイルに合わせてインターフェースをパーソナライズできます。この機能の優れた点の一つは、選択したスケーリング率に関わらず、プラグインのビジュアル品質が一致したまま保たれることです。これにより、インターフェースは拡大または縮小しても、好みの表示サイズに合わせても、クリアで読みやすい状態を維持します。さらに、M-EQのインターフェーススケーリング機能は、Retinaディスプレイを含むハイエンド品質のモニター向けに最適化されており、多様なデバイス上でプラグインが美しく表示され、信頼性の高いパフォーマンスを発揮します。



Techivation M-EQ

特徴

Presets

プラグインは、既存のプリセットをロードする利便性に加え、画面右上にあるメニューを使用して独自のカスタムプリセットを作成し保存する機能を提供します。

この機能により、特定のミキシングニーズに合わせた多様な設定を迅速にアクセスし適用することができ、ワークフローを効率化し、オーディオ処理タスクの統一されたスタートポイントを提供します。

さらに、独自のカスタムプリセットを保存することで、異なるプロジェクト間で好みの設定を簡単に呼び出すことができ、オーディオ制作における一貫性と効率性を確保できます。



Techivation M-EQ

互換性

プラグインフォーマット: VST, VST3, AU, AAX.

対応プラットフォーム: macOS インストーラーは10.15 (Catalina) 以降をサポートします。

Windows 7以上。64ビットのみ

対応DAW: Ableton Live, Logic Pro, Avid Protools, FL Studio, Cubase, Nuendo, Reaper, などの主要なDAWソフトが発売されている。

活性化

M-EQ は、弊社のウェブサイトからライセンスを購入し、弊社の条件に従ってアクティベートする必要があります。弊社からライセンスを購入するとすぐに、プラグインにサインインした後、自動的にTechivationアカウントがプラグインを有効化します。1つのライセンスを購入された方は、同時に最大2台のマシンでプラグインを使用することができます。

サポート

サポートに関するお問い合わせは、techivation.com/supportをご覧ください。

権利の詳細については、techivation.com/terms-conditionsを チェックしてください。

ご不明な点がございましたら、Eメール (info@techivation.com) または techivation@gmail.com までお気軽にお問い合わせください。

インストール

M-EQ のライセンスを購入すると、プラグインにサインインしてアクティベートすることができ、生涯使用することができます。

ソフトウェアのダウンロードはサインアップ/購入時に提供されますが、いつでもTechivation.comで最新のソフトウェアアップデートを入手できます。

ダウンロード後、ファイルを解凍し、お使いのシステムに応じてMacまたはPCのインストーラを選択してください。(警告：PC用のファイルをMacで実行したり、その逆はしないでください)。

- Mac PKGインストーラーをダブルクリックし、指示に従ってください。
- PC/Windows: ファイルの内容を解凍します。セットアップファイルをダブルクリックし、指示に従ってください。

Techivation M-EQ

アンインストール場所

MAC OS

AU: /Library/Audio/Plug-ins/Components/

VST: /Library/Audio/Plug-ins/VST/

VST3: /Library/Audio/Plug-ins/VST3/

AAX: /Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

その他のデータ: ~/Library/Application Support/Techivation

WINDOWS

VST: Custom path from installer

VST3: \Program Files\Common Files\VST3\

または \Program files(x86)\Common Files\VST3

AAX: \Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins\

その他のデータ: C:\ProgramData\Techivation 注意：このフォルダ

は隠しファイルなので、まず隠しファイルを見るように設定を変更してください』。